



島根県埋蔵文化財調査センター  
 TEL：0852-36-8608  
 江の川発掘調査事務所  
 TEL：0855-54-1620

島根県埋蔵文化財調査センターからのお知らせです。



島根県埋蔵文化財調査センターでは、江の川河川改修事業にともない、平成29年度から江津市内で発掘調査を行っています。本年度は昨年度に引き続き、松川町内での発掘調査を5月から開始しています。調査の様子は、この『中国太郎の発掘日記』を通じてお知らせします。皆様におかれましては、調査へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 令和3年度の調査

遺跡名：森原下ノ原遺跡  
 (もりばらしものはらいせき)

所在地：江津市松川町八神

調査面積：約4200㎡

調査期間：令和3年5月から12月末(予定)

森原下ノ原遺跡は江の川右岸に位置する縄文時代～近世までの人々が生活した跡が残る遺跡です。

今年度は、昨年度調査地よりも南側を発掘調査しています。



発掘調査箇所位置図

## 昨年度の調査成果①



昨年度出土した土器片

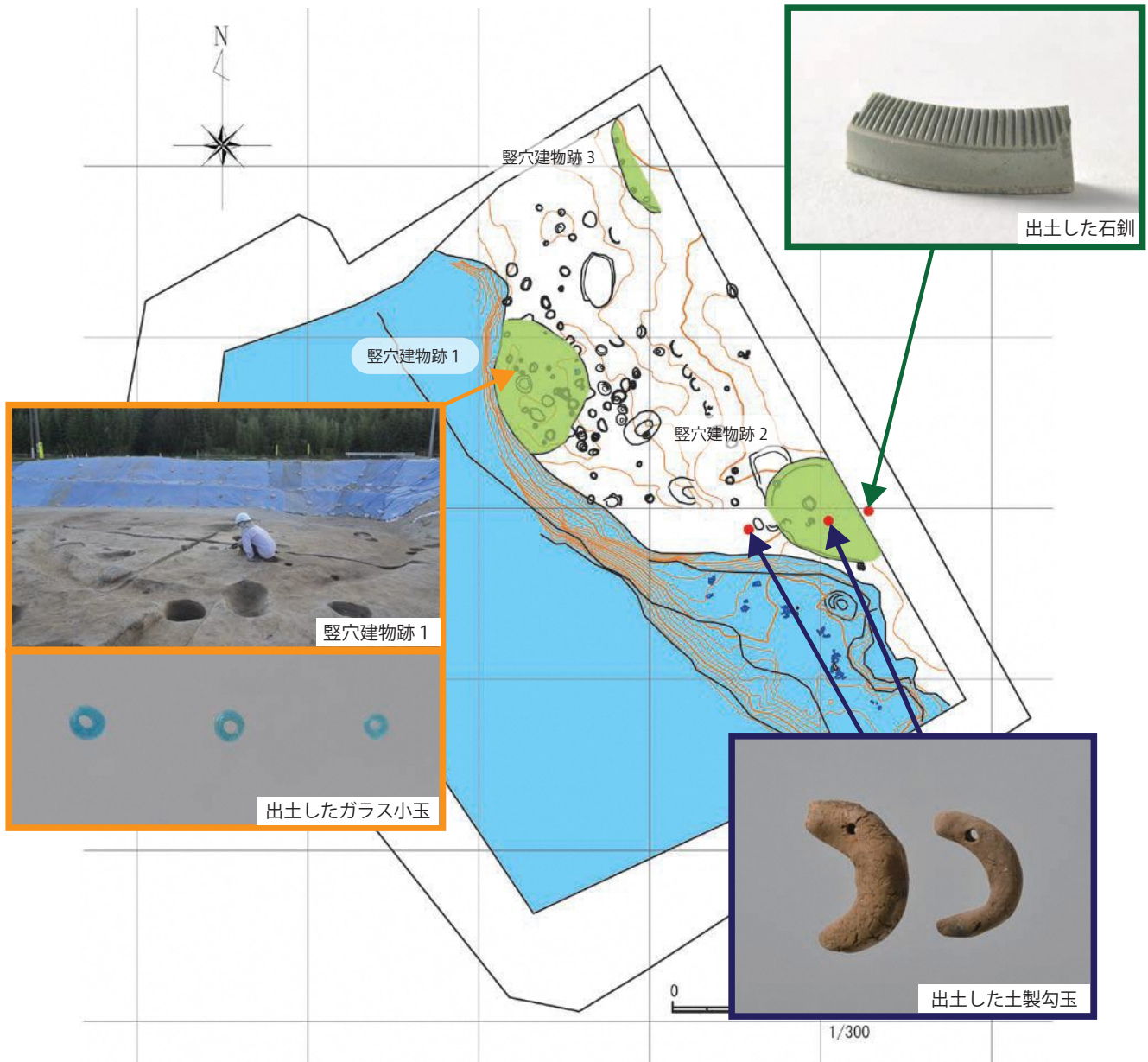


くっつけて復元した土器

昨年度の発掘調査では、多くの遺物が見つかりました。これらの出土遺物は、島根県埋蔵文化財調査センターで整理を行っています。

現在は、出土した土器の破片をくっつけて、元の形に復元する作業をしています。

## 昨年度の調査成果②



森原下ノ原遺跡 2区全体図

昨年度の発掘調査では、弥生時代後期（約 1800 ～ 2100 年前）の竪穴建物跡が 3 棟見つかりました。竪穴建物跡からは、ガラス小玉（直径 3 ～ 4mm 程度）が数点出土しています。

また、別の地点からは土で作られた勾玉や石釧（いしくしろ）などが出土しました。石釧は古墳時代前期（約 1700 年前）に作られた腕輪形の石製品で、当時のヤマト王権から各地の有力者に配られた貴重品でした。

なぜ松川町八神地区ではこのように貴重な資料が発見されるのでしょうか？ 島根県埋蔵文化財調査センターでは、日本海と江の川の水運が江津市の歴史へ深くかかわることを踏まえながら、今年度の発掘調査に挑みたいと思います。今後の調査成果にご期待ください！

### ※おねがい※

調査中の遺跡は深く掘り下げた部分があり、**大変危険です。事故防止のため調査区内に立ち入らないようお願いします。**

**見学を希望される方は上記発掘調査事務所までご連絡ください。**